

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【公表番号】特表2019-526653(P2019-526653A)

【公表日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2019-500280(P2019-500280)

【国際特許分類】

C 09 J 201/00	(2006.01)
H 01 L 31/048	(2014.01)
H 01 L 31/05	(2014.01)
H 01 L 31/054	(2014.01)
C 09 J 123/04	(2006.01)
C 09 J 131/04	(2006.01)
C 09 J 7/10	(2018.01)
C 09 J 7/35	(2018.01)

【F I】

C 09 J 201/00	
H 01 L 31/04	5 6 0
H 01 L 31/04	5 7 0
H 01 L 31/04	6 2 0
C 09 J 123/04	
C 09 J 131/04	
C 09 J 7/10	
C 09 J 7/35	

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月29日(2020.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光方向転換フィルムと、

前記光方向転換フィルムに直接隣接している接着剤層と、を含み、

前記接着剤層は、100での動的剪断応力が $20\text{ N} / (1/2\text{ inch})^2$ 超であり、剥離接着力値が $125\text{ g} / (1/2\text{ inch})$ 超である接着剤を含む、光方向転換物品。

【請求項2】

前記接着剤は、100での動的剪断応力が $35\text{ N} / (1/2\text{ inch})^2 \sim 125\text{ N} / (1/2\text{ inch})^2$ であり、剥離接着力値が $125\text{ g} / (1/2\text{ inch}) \sim 150\text{ g} / (1/2\text{ inch})$ である、請求項1に記載の光方向転換物品。

【請求項3】

前記接着剤は、紫外線で硬化されたエチレンビニルアセテート接着剤組成物である、請求項1に記載の光方向転換物品。

【請求項4】

前記光方向転換フィルムは、ベース層と、前記ベース層から突出する規則的に配置され

た複数の微細構造と、前記ベース層の反対側で前記微細構造に直接隣接している反射層と、を含む、請求項3に記載の光方向転換物品。

【請求項5】

少なくとも1つのタビングリボンを含む少なくとも1つの光電池と、
請求項1～4のいずれか一項に記載の光方向転換物品と、を備える、光起電力モジュールであって、

前記光方向転換物品は、前記少なくとも1つのダビングリボン上にあり、前記ダビングリボンに関して1mm以下の平均ドリフトを有する、光起電力モジュール。

【請求項6】

前記平均ドリフトは、0.5mm以下である、請求項5に記載の光起電力モジュール。

【請求項7】

前記光方向転換物品は、光電池を含まない少なくとも1つの領域上にある、請求項5に記載の光起電力モジュール。